



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 自然堤防上の遺跡

02 少なかったセミの姿

Vol.341

2025/12/01



八重柏誠《初雪風景》

Photo 今月の1枚

先日、突然の大雪に見舞われた美幌町。最近では12月に入っても、雪はあまり積もらないことが多いので驚きました。博物館周辺も、寂しげなモノトーンの景色に様変わりしました。早すぎる初雪だったのか、今はすっかり溶けてしまいましたが、それでも、冬が確実に近づいていると感じさせる出来事でした。(八重柏誠)



01 Green Column グリーンコラム

自然堤防上の 遺跡

写真・文／八重柏誠

美幌町稲美地区は、美幌川左岸に位置する低湿地で、地下には泥炭層が広がっています。明治33(1900)年に最初の開拓者が現れる歴史ある地域です。明治時代に水田の試作が行われ、大正時代以降は「稲美」の名のとおり、美しい水田が広がる場所となりました。

現在、稲美地区では5か所の遺跡が確認されています。そのうちの一つ、稲美5遺跡は美幌川のすぐそばにある畑の中に位置します。周囲の畑と比べると、遺跡のある部分だけが小高くなっていることが特徴です。畑の横には防風林があり、古い地形がベルト状に残っており、その地形は現在の畑よりもさらに盛り上がっていたことがわかります。

この盛り上がった地形は「自然堤防」と呼ばれます。河川の氾濫により両岸に砂や泥が堆積し、川沿いに自然

に形成される周囲よりもやや高い丘のことです。自然堤防は、水はけがよく、周囲の平地より高さがあるため、洪水時には比較的安全な場所とされています。実際、本州の古くからある集落は自然堤防の上に築かれ、周辺の平地は水田として利用されてきました。

稲美5遺跡から出土した土器は、縄文時代の早期・晩期、続縄文時代と時代が多様です。狩猟採集を生活の基盤とした先史時代の人々にとって、自然堤防は水産資源を得られる立地であり、水害にも強い立地でもあったことから、生活に適した場所であったと考えられます。様々な時代の土器が出土していることから、長い期間にわたり利用され続けてきた土地であったことがわかります。一見すると、川に隣接した危険な土地のように思えますが、実は水害に強い場所であったことが、遺跡の存在からも、うかがえます。

少なかった セミの姿

写真・文／鬼丸和幸



美幌町内では、これまでにエゾハルゼミ、コエゾゼミ、エゾゼミ、エゾチッチゼミの4種類のセミの仲間が確認されています。普段よく見られるのは、5月下旬頃より一番早く姿を現すエゾハルゼミと、背中につけられた黄線模様が特徴的なコエゾゼミです。エゾゼミは、コエゾゼミに姿が良く似ているセミですが、美幌町内で多く見かけることはありません。エゾチッチゼミは、小型のセミで、ツツジなどの低木で見かけることが多く、「ジィ〜〜〜」と他のセミとは少し異なる鳴き方をするのが特徴です。

今年の夏は、全国的に例年のない猛暑が続きました。猛暑はセミの暮らしにも、どうやら少なからず影響を与えていたようです。

美幌みどりの村森林公園では、例年だと7月に入ると、ものすごい数のセミ（主にコエゾゼミ）の鳴き声が聞

こえてくるのですが、今年はその声が聞けたのも、ごくわずかでした。セミの仲間は、成虫が木の上で産卵した後、幼虫は地中へと移動して数年間過ごした後、羽化するために地中から地上へと這い出し、木の上などで成虫になります。一説には、今年は例年のない猛暑となったため、土が乾燥して固結化したため、幼虫が地中から地上へと這い出そうとしても、這い出せなかったため、セミの成虫が少なかったのではないかとも言われています。

近年の温暖化が進む中、来年の夏は、セミの鳴き声が、ちゃんと聞こえるのかどうか…少し不安になります。

Exhibition 展示

企画展「おひろめコレクション展」

～令和8年1月18日（日）



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

プチ工房「サンタとトナカイのキャンドル」

12/5（金）、6（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／城坂結実（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

プチ工房「ヒノキのマイ箸」

1/9（金）、10（土）10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／城坂結実（美幌博物館）

対象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

冬休み子ども木工教室

1/11（日）9:30～12:00

美幌博物館1階 講座室・600円

講師／おいで家具

対象／小学3年生以上

申込み／美幌博物館に電話で申込み。12名で締切。



送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

屈斜路湖湖岸に、カエデの大木1本が張り出している場所がありました。特に秋の紅葉は見事で、毎年この大木の根元に腰を下ろし、握り飯を食べるのが楽しみでしたが、先般の大風の影響で根元から倒壊してしまい、残念ながら秋の楽しみが1つ減ってしまいました。（鬼丸和幸）



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

